

## 学校カウンセラー 増員へ請願と署名

教育団体が県会に提出

県PTA連合会など6団体でつくる「福井の教育をよくするための県民連合」は20日、小中学校の養護教諭やスクールカウンセラーの増員などを求める請願と7万1402人分の署名を松田泰典県会議長あてに提出した。



請願は3項目。養護教諭ら

教育環境の充実を求める請願と署名を大森副議長(右端)に手渡す橋会長(右から2人目)  
20日、県会議事堂

の増員では、心や体に悩みがある児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、スクールソーシャルワーカーや、発達障害のある子どもに対応する進級指導担当教員も増やすよう求めた。このほか▽小学校の英語教科化に向け外国語指導助手(ALT)らの増員▽児童館や放課後児童クラブの施設とスタッフの拡充」を挙げた。

同連合の橋英亜(ひしあ)機会(きかい)会長らが県会議事堂で大森哲男(たけお)副議長に手渡した。同席した山本正雄(やまもと)県議(みんしん・みらい)は今年3月、池田中で生徒が自殺した問題に触れ「子どもがスクールカウンセラーと落ち着いて相談できる時間や回数を増やしてほしい」と述べ、増員を求めた。大森副議長は「県会として十分に議論して教育環境を前進させたい」と応じた。(石井敬夫)